



### 令和8年度

# 国への要望を審議

東京ビル政連は9月2日、ビルメンテナンス会館において第145回理事会を開催、「令和8年度国の予算・制度等に関する要望」について審議した。

梶山龍誠理事長は冒頭挨拶で、「7月の評議員会において、今期の役員が選出され、新たなメンバーで初めての理事会となります。機関紙でも会員の皆様にお伝えしました

が、執行部一同、業界のさまざまな課題を政治的な側面から解決していけるよう精進してまいります。ご協力をよろしくお願いいたします」と意欲を表明して協力を訴えた。

審議事項は令和8年度国への要望の1件。横田英雄幹事長が担当して、令和7年度と比較しながら提案説明を行った。品確法の再改正は「昨年と同様の内容を要望」、適正

価格による契約には「昨年12月および今年2月に総務省から各都道府県や区市町村等の契約担当に示された通知を反映」。また、厚生労働省による調査と公表の継続では、「工事関係と同様に、毎年の調査状況を公表するよう要望」。

エコチューニング認定制度の促進については、「いまだに地方公共団体等に環境配慮契約基本方針が浸透していな

いことから、継続して要望」。全庁統一資格付与点数表の見直しでは、「業種別の売上高の点数付与など、新たな基準の策定やシステム構築を要望」と説明。さらに、短時間労働者の社会保険適用拡大では、「補助金制度の手続きの簡素化や助成額の増加、制度の周知等を引き続き要望」。

ビルクリーニング分野特定技能2号評価試験については、「直近の試験の合格率は引き続き10%台しかなく、人手不足対策にはなり得ない状況が継続しており、見直しを要望」と説明。

議長の本寛副理事長が意見や質問を求めたあと、全会一致で承認された。報告事項は5件。「令和7年上半期の収支」は、古渡徹会計責任者が当期の収入は772万円、当期の支出は615万円で157万円のプラスと説明して、大村清保監事が「財政状況は健全」と監査報告。「第27回参議院議員選挙の結果」では、横田幹事長が重点支援候補者の橋本聖子氏当選、推薦支援候補者3名のうち2名当選などを報告。「第72回全政連評議員会報告」では、佐藤正利全政連評議員が、任期満了に伴う役員選任と、評議員会後の臨時

理事会において理事長に梶山氏(東京政連理事長)、副理事長に榎本氏(東京政連副理事長)などが選任されたことを報告した。

「7月理事会以降の動きと今後の予定」と「会員等の推移」は、西海哲洋事務局長が担当。会員等については9月1日現在で、正会員397社、賛助会員22社、機関紙購読社11社、合わせて430社となっていると報告。このほか、その他として、西海事務局長から今後の理事会議長と議事録署名人についての説明があった。

「7月理事会以降の動きと今後の予定」と「会員等の推移」は、西海哲洋事務局長が担当。会員等については9月1日現在で、正会員397社、賛助会員22社、機関紙購読社11社、合わせて430社となっていると報告。このほか、その他として、西海事務局長から今後の理事会議長と議事録署名人についての説明があった。



理事会の様子



議長を務めた榎本副理事長



冒頭挨拶を述べる梶山理事長



全政連評議員会報告を行う佐藤理事



審議事項の説明を行う横田幹事長



監査報告を行う大村監事



収支報告を行う古渡会計責任者

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
引上額	28円	31円	41円	50円	63円
時間額	1,041円	1,072円	1,113円	1,163円	1,226円

東京労働局長は、東京都最低賃金を63円引き上げ、時間額1,226円に改正することを決定、10月3日に発効した。

- 1 精皆勤手当、通勤手当及び家族手当
- 2 臨時に支払われる賃金(結婚手当など)
- 3 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与など)
- 4 時間外労働、休日労働及び深夜労働の手当

円引き上げて1,226円(引上率5.42%)に改正することが適当である旨を答申。東京労働局長は所要の手続きを経て決定、9月3日に官報公示を行った。

東京都最低賃金は、都内の事業場で働くすべての労働者と使用者に適用され、使用者は、労働者に最低賃金額以上の賃金を支払わなければならない。

**ちゃんとチェック!**

## 最低賃金

働く人も、雇う人も、確認を忘れずに!

東京都 最低賃金

# 1,226円

令和7年 10月3日 時間額

最低賃金は、働くすべての人に賃金の最低額を保障する制度です。

中小企業事業者の皆さんへ

賃金引き上げ 労務管理全般について「悩める経営者のチカラになります!」と、専門家がワン・ストップで無料相談に応じています。